

かねがさき 社福だより

2022年
第253号

主な内容

- 令和4年3月17日発行
P1 スノーバスターズ活動報告
P2~3 トピックス 1~5
P4 事業所紹介
P5 輝き人
P6 寄付の報告
会長の想い
ファミサポ会員募集
釜石市から感謝状

スノーバスターズ活動報告



金ヶ崎町スノーバスターズでは、住民の方々や町内に拠点を置く企業の方々にご協力いただきながら、町内の除雪困難世帯の雪かきを行いました。

雪かきは、計7回、延べ272人のボランティアの方々に参加いただき、町内61世帯を行いました。

コロナ感染拡大で、稼働日数が減少しましたが、たくさんのご協力ありがとうございました。



今年度からご協力いただいた金ヶ崎高校野球部のみなさん。

若いパワーに触発され、ボランティアに活気があふれました。

トピックス

話題の事業

1 支え合いマップ作成始動！

トピックス

「自分たちの地域は自分たちでなんとかしなければならない！」「私たちにできることは何かを見つけて活動したい！」「自分たちの住む地域で取り残される人がいないようにしたい」と、住みやすい地域づくりを目指して、課題解決のツールとなる支え合いマップ作成に取り組んでいます。



城内白糸見守り隊



黒沢サロン



ニツ谷地区ゆいっこハウス

2 第24回はっぴいふれいすかねがさき

トピックス



第24回目(1月22日開催)は、初めて侍屋敷大松沢家様にご協力いただき、特製海鮮かき揚げ丼を91名へ手渡すことができました。そして、金ヶ崎町JA女性部様には、手作りのりんごケーキを配付いただきました。さらに、ご寄付いただいた非常用食品も配付することができました。たくさんのご協力ありがとうございます。

3 100歳記念長寿祝品贈呈式

トピックス

【小原マツさん】

2月1日、特別養護老人ホームあすなろで小原マツさんの長寿祝品贈呈式が行われました。

若い頃には和裁の教師資格を活かして自宅で教室を開いていたほか、走ることや球技などの運動も得意だったというマツさんは、2年前から同施設を利用し穏やかに過ごしているとのことです。

贈呈式の感想を聞かれると「100点です」と話して、嬉しそうに目じりを光させていました。



【高橋 稲さん】

2月7日、高橋税さんの長寿祝品贈呈式が永沢上野中のご自宅で行われました。

ゲートボールやグラウンドゴルフに熱中し、90歳を過ぎても自転車で競技に出掛けているという税さんは、3食を食べしっかり寝ることが長寿の秘訣だといいます。

お祝いのケーキのろうそくを吹き消し、「うれしい」と明るい表情で感想を述べていました。



4 オレンジカフェ実施

トピックス

【城内さつきクラブ】

同クラブは、世代間交流を図る目的で2年前に発足し、地域の皆さんのが集える場所を作りたいという思いから、オレンジカフェの活動を今年度から開始しました。

初めて開催となった今回は、数字盤や日本地図を用いた脳トレに取り組みました。和やかに笑顔のあふれる時間を過ごしていました。



【いきいき百歳クラブ】

同クラブは、上の町地区の皆さんのが、地域で楽しく健康づくりを行えるよう、代表の桑島興子さんが中心となり、活動を開始しました。

毎週いきいき百歳体操を始めとした介護予防に取り組んでおり、参加された方に感想を聞くと「家から歩いて通える。毎週集まれて楽しいです。」と笑顔を浮かべていました。



【千貫石ゆいっこハウス交遊会】

同会はコロナ禍での活動見合せはあったものの、おおよそ毎月活動を実施し、交流や健康づくりを楽しんでいます。

軽スポーツや歌の会、絵手紙制作など様々な活動に取り組んでおり、地域のみなさんの元気の源となっています。



今年度、町内では28団体がオレンジカフェ事業に取り組んでいます。

5 厚生労働大臣表彰・全国社会福祉協議会会长表彰

トピックス

◆厚生労働大臣表彰



【社会福祉事業関係団体功労者：鈴木伸也】

(公社)全国脊椎損傷者連合会岩手支部長や町身体障害者福祉協会の役員として長年活動し、地域福祉や障がい者福祉の向上に尽力しました。



【ボランティア功労者：金ヶ崎町立金ヶ崎中学校】

同校が長年取り組んでいるボランティア活動が評価され受賞となりました。



◆全国社会福祉協議会会长表彰

【社会福祉協議会・民間社会福祉団体功労者：宮本運山】

町社会福祉協議会の職員として、25年従事し、地域福祉や高齢者・障がい者福祉の向上に尽力しました。

生徒会副会長
高橋日菜さん

こんな事を しています

居宅支援事業所



あいさつ

管理者 八重柏 知 史

令和3年4月より居宅支援事業所の管理者として配属されました。

私が社会福祉協議会に採用され最初に配属されたのが、デイサービスと障害者の授産施設でした。その後、地域事業、ヘルパー、介護支援専門員、相談支援専門員など様々な経験をさせていただき今に至っております。

コロナ禍により、当たり前だった日常が懐かしく思える今日この頃ですが、これまでの経験を活かし、住み慣れた金ヶ崎町で家族と暮らしたい、最後まで自分の足で歩きたいなど、皆さんの思いに寄り添いながら全力でサポートしていきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

・～・

居宅介護支援事業所では介護支援専門員（ケアマネージャー）が、要介護状態及び要支援状態のみなさまに、可能な限りご自宅で充実した生活を送っていただくために、各種手続きや、状況に合わせた計画（ケアプラン）作成などの様々なサポートをしています。

【どんな事をするの？】

計画作成

ご本人・ご家族の状況をお聞きし、ご本人にあった介護サービス等の計画を作ります。



連絡調整

介護サービス事業所との連絡調整を行い、介護保険サービスを利用できるようにお手伝いをいたします。



何をどのようにしたら良いのか不安でした。

介護認定

介護サービスの利用には要支援・要介護の認定が必要です。当事業所では、その申請のお手伝いをいたします。

悩まず、迷わず、ご連絡ください！
安心をたくさん用意しております！

現況確認

月に1度は訪問することで現況を確認し、サービス内容の見直しをします。



その他

介護保険だけではなく、生活支援サービス等の相談も行います。

☎ (0197) 44-4025

シリーズ
16

金ヶ崎町立金ヶ崎中学校

～引き継がれてきた思い～

金ヶ崎中学校が、ボランティア功労者厚生労働大臣表彰を受賞し、1月26日、県南広域振興局長から生徒会役員に表彰状が伝達されました。同校が1965年（昭和40年）から継続している、福祉施設訪問やアルミ缶回収、地域清掃などのボランティア活動が評価されたものです。

高橋広明校長は、「先輩方から引継ぎ、継続してきた取り組みを評価されたことは大変ありがとうございます、金中生として誇りに思ってほしいです。活動を通して、地域の一員としての役割を自覚するとともに、福祉活動への関心を持ち、理解を深めて欲しいです。」と今回の受賞を振り返ります。

生徒会長高橋怜さんは、「今回の受賞を励みに、自分たちにできることを来年度も継続して実施したいと思います。」と決意を新たにしました。



生徒会副会長 生徒会長
高橋日菜さん 高橋 怜さん



新型コロナウイルス感染防止のため見合せている事業一覧

令和4年3月7日現在

●当分の間見合せ

- * ふれあい福祉相談 * 社協窓口相談（電話中心の対応）
- * 福祉センター施設の貸出し * 福祉バスの貸出し
- * ワークステーションかねがさきふれあい食堂
- * 体操ショッピングバス * 買物支援バス
- * 青い鳥のつどい * さくらの会
- * はっぴいふれいすかねがさき（自粛又は中止）
- * 訪問理美容サービス
- * 会議の主催…町民及び関係者の集まるもの（自粛又は中止）
- * 社協職員講師等の派遣…町内外への派遣

再開につきましては、当会広報やホームページにてお知らせいたします。
ご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

寄付の報告

令和4年1月1日から2月28日までの受付分



○福祉基金

高 橋 優 さま 50,000円

○物品寄付

及 川 ハツヨ さま チョコレート 20 箱 10 袋
*ワークステーション

○はっぴいぶれいすへ

明治安田生命 奥州北上営業所 さま フードドライブ品 1 箱
(株)パワー・ブレン さま 鮭ほぐし・鰯フレーク 300 個



かふくあざななわごと 禍福は糾える縄の如し

金ヶ崎町社会福祉協議会 会長 高 橋 範 夫

会長の
想い
Part 8

2020年1月、日本に新型コロナウイルス感染者、第一例目が確認されてから早2年が過ぎました。実感としては3年も4年も経過したような感じを受けています。感染対策としてこれまで、基本的衛生管理の徹底とワクチン接種、更には人流抑制等幾多の制限と緩和を繰り返し、現在第6波の感染対応の中にあります。この先どう収束していくものか、しっかり予測できないまでも、第3回目のワクチン接種が終わり、加えて経口治療薬が使えるようになる時期が一つの目安ではないかと、素人ながら思っているところであります。

さて当社会福祉協議会でも感染予防を第一に考え、不本意ながらこの1月末から当分の間、事業の自粛・中止等の措置（詳細、前掲。）を講じているところであります。本来であれば、バスの貸し出し、買い物支援バスの運行、ゆいっこハウスの支援、はっぴいぶれいすかねがさき（子ども食堂）の開設、そしてスノーバスターZの雪かき等多くの事業・福祉サービスを提供する計画でありましたが、残念ながら皆さんのご期待に沿えない状況にあります。事業等の再開までいま暫くお待ち頂きたいと思います。

「禍福は糾える縄の如し」という故事がありますが、必ずやこのコロナ禍を克服し、新たな住みよい日常が取り戻せるものと信じ、併せて秀峰、焼石岳の残雪「ハル」の雪渓文字が眺望できる季節を待ち望んでいます。

ファミリー・サポートセンターかねがさき

会員募集中！

ファミサポかねがさきでは、子育てを手伝ってほしい「おねがい会員」と子育てのお手伝いをしてくれる「まかせて会員」を募集しています。興味のある方は下記お問い合わせ先までお気軽にお電話ください。

★「おねがい会員」

町内にお住まいの方、または町内に勤務されている方で、おおむね1歳～小学6年生までのお子さんをお持ちの方。

★「まかせて会員」

町内にお住まいの子育て経験のある方で、心身共に健康で子どもを預かることができる方。

※子育て支援の有償ボランティア活動です。

★「両方会員」

「おねがい会員」と「まかせて会員」の両方を兼ねている方。

主な活動内容（令和4年1月31日現在）

- ・保護者の通院・私用等外出時の預かり
- ・兄弟姉妹の学校行事の時の預かり
- ・降園の際の送迎と預かりなど

援助件数：49件



お問い合わせ・お申込み先

ファミリー・サポート・センターかねがさき
(金ヶ崎町社会福祉協議会内)

TEL : 44-6060 FAX : 44-6106

社会福祉法人 金ヶ崎町社会福祉協議会

☎029-4503

金ヶ崎町西根南羽沢43 町福祉センター内

TEL : 0197-44-6060 FAX : 0197-44-6106

Eメール : kinshaky@seagreen.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.kin-syakyo.jp>

★この広報誌は、共同募金配分金の一部をあてて発行しています

